

## 「高松市都市計画道路網の見直し（案）」に関するパブリックコメント実施結果

本市では、令和4年3月1日から令和4年3月31日までの期間、「高松市都市計画道路網の見直し（案）」についてのパブリックコメントを実施しました。この度は、貴重な御意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1 意見総数 5件（1人）

2 いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化又は文言等の調整をしています。

No	御意見（要旨）	市の考え方
全体に関すること		
1	費用対効果や景観バランスなども考慮して計画廃止・縮小に踏み込んでおり、全体としては高く評価する。	今回の都市計画道路網の見直しに当たり、高松市都市計画道路網検討委員会を設置し、委員の皆様から頂いた意見を参考に、定量的な分析や歴史的景観保全等といった視点を踏まえて検討してまいりました。 今後とも、本市を取りまく状況の変化を的確にとらえて、遅滞なく適切なタイミングで見直しを行ってまいりたいと存じます。
新規路線候補 A 「ことでん仏生山駅アクセス道路」について		
2	駅へのアクセス性を向上させることの必要性が薄い。 現在は片側1車線の道でジャンボタクシーによるバス路線が運行できている。つまり、自家用車のための新規道路であるが、駅付近に駐車場が満足にない状況で、車から電車への利便性向上にどれだけの意味があるのか不明である。	高松市地域公共交通計画において、仏生山駅は交通結節拠点として位置付けており、拠点周辺の居住地等から拠点駅へのアクセス強化を図ることを基本方針の一つとして掲げております。 平成30年度には、仏生山駅においてパーク＆ライド駐車場及びサイクル＆ライド駐輪場の整備を行っております。 仏生山駅への新規路線候補については、自動車や自転車と公共交通を組み合わせた交通手段として、アクセス向上を図ることにより、公共交通への利用促進

			につながるものと考えております。
3	<p>地域公共交通計画基本理念との齟齬がある。</p> <p>「少子高齢化が進行する中でも持続力の高い公共交通網体系の再構築」や「中心部への自動車利用の抑制」を考えると、市南部の交通・生活の拠点となる仏生山駅周辺での自動車利用がさらに増えることはバスや自転車の利用効率を低下させ、交通弱者へのしわ寄せに繋がると考えられる。</p> <p>自動車はよりアクセス性の高い空港通り駅や新駅（太田～仏生山駅間）に誘導する方がよいのではないかと。</p>	<p>高松市地域公共交通計画では「いつまでも人と環境にやさしく快適で利用しやすい公共交通体系の構築」を基本理念とし、7つの基本方針を設定しております。</p> <p>現在、仏生山駅以東の市道 仏生山円座線につきましては、歩道が無く、交通量の比較的多い道路でありますことから、都市計画道路の整備を行う際には、車道の一部を利用し、バス停の整備や歩道を整備することで、交通弱者に対して安全で快適な道路空間の形成につながるかと考えております。</p> <p>また、高松市都市計画マスタープランにおいて、地域交流拠点に位置付けております仏生山駅は、当該駅からの支線となるフィーダー交通や公共交通空白地域を抱える南部地域を面的にカバーする交通結節拠点としての機能を担っていることから、当該駅へのアクセス性の向上を図ることとしております。</p>	
4	<p>費用対効果の問題について、仏生山駅周辺は建物が立て込んでおり、道路の拡幅・新設の費用は必然的に高額となる。</p> <p>一方で、車の通行量は間違いなく増えると思うが、それを効果と呼んで良いのかは議論のあるところである。並走する公共交通機関の足腰を確実に弱めると、人口密集地域である仏生山市街地の交通量増大により生活環境を悪化させるのではないかと。</p>	<p>御指摘のとおり、想定している区間につきましては、沿道に建物が密集している道路であり、事業化に伴う費用も高くなることや、交通量の増加が想定されます。</p> <p>都市計画道路の計画を行う際には、説明会等の実施等、地元の皆様の御意見を伺いながら、適切な規模、構造の道路とし、周辺環境に配慮した設計となるよう、努めてまいりたいと存じます。</p>	
その他			
5	<p>ワード文書形式の意見書について、罫線で区切られており大変不便である。文書形式の再考をお願いしたい。</p>	<p>意見書の様式について、御不便をおかけし申し訳ございません。今後、意見書等の文書を提供させていただく場面において、改善に努めてまいりたいと存じます。</p>	